

■欧州：欧州各国、ストレステストの国別評価報告書を提出

欧州各国の原子力規制機関は2011年12月末が提出期限とされているストレステストの国別評価書の最終版を欧州委員会の原子力安全規制者グループ（ENSREG）に順次提出しつつある。大方の論調としては安全性向上に設備面や運用面での改善を提案しつつも、即時の停止や緊急的に対策を要する原子炉の存在は指摘されていない。国別の内容では、例えばフィンランドでは72時間の電源喪失を想定した対応の義務化が追加、ベルギーではチアンジュ発電所での堤防設置などが提案されている。フランスは独自基準の「補完的安全性評価」の最終版を公表したが、ここでは非常用ディーゼル発電機の防水化や耐震構造の退避施設の設置等をEDFに要求している。この他、英国は基本的な問題はないとした原子力規制局（ONR）報告書の内容を踏襲した内容で提出している。今後は欧州委員会が組織するレビューチームによる相互審査（チームは当該国のレビューアーを除いて編成）を2012年4月までに実施し、2012年6月に最終的な評価が出される。